

ごぼうやま
午王山遺跡ってどんなところ？

～国指定文化財になりました～



午王山遺跡発掘風景 2007（平成19）年

午王山遺跡は、荒川を臨む独立丘陵上に位置する主に弥生時代中期後半から後期後半までの集落遺跡です。弥生時代後期には大規模な環濠集落として展開されていたことが明らかになっています。出土土器には、中部高地（長野県・群馬県）系の岩鼻式土器、南関東系の久ヶ原式土器、東海東部（静岡県西部天竜川以東地域）の系譜を持つ土器の3系統が確認されています。また、銅鐸形土製品や土鈴、带状円環銅釧などの祭祀品も検出しており、南関東を代表する弥生時代の集落遺跡として有名です。

日時：3月20日（土・祝日）10時～12時

場所：和光市図書館下新倉分館

対象：市内在住 18歳以上

定員：5名（応募者多数の場合は抽選）

内容：会議室で講義（45分程度）を受けた後、午王山現地を見学します。

講師：鈴木一郎氏（市の遺跡発掘担当者）

申込み：3月2日（火）から3月12日（金）までに、

メール、下新倉分館窓口または電話で

注意事項：当日はマスクの着用の上、動きやすい服装で、水分補給の飲み物などご持参ください。

午王山現地までは徒歩で移動し、見学後現地解散となります。

雨天の場合、現地の見学を中止いたします。

【問合せ・申込み】

和光市図書館下新倉分館 和光市下新倉 5-21-1

TEL 048-452-6011

h0301@city.wako.lg.jp



**申込み
ORコード**